

藤波こども園

令和6年度 園長だより No.4

令和6年7月19日

文責 澤 悦弘



旧 藤波幼稚園



現 藤波こども園

健やかな育ちをめざして



10年後や20年後の社会がどのように進化しているか、予想すらできませんが、どんな社会になろうとも、子どもたちには豊かな感覚を身につけて、人の気持ちがわかり、自分の思いを十分に発揮してほしいと願うところです。6月14日にはPTA講演会に佛教大学副学長の原清治先生をお招きし、幼児期の子どもたちにとって大切なこととお話いただきました。

「体験」が 健やかな成長を促進する

これからの社会を生きて

いく子どもたちが豊かな人生を送るためには非認知能力(学力検査などでは測定できない「人の心」や「社会



性)に関係する力)を育てることが大切であると話されていました。その「非認知能力」を育てるためには「体験活動」が大きな役割を担うようです。失敗を繰り返しながらの体験活動によって自尊感情も高まるとのことでした。また、「お手伝い」は万能薬であると示され、参加された保護者の方からもお手伝いによって「ほめられる」「達成感を味わえる」



「お手伝い」は万能薬



お手伝いを多くすると、自尊感情や外向性をはじめ、精神的な回復力、向学的な意識など、すべての意識に良い影響がみられる

【参照】文部科学省「令和2年度青少年の体験活動の推進に関する調査結果」
https://www.mext.go.jp/content/20210908_mxt_chiu01-100003338_1.pdf 2023.10.4アクセス

「家族の一員であることを自覚できる」などの意見が出されました。

以下は参加された保護者の方の感想です。

自分自身の子どもへの向き合い方や接し方で考え直さないといけないことに気づかされることもあり、改める機会になりました。

とてもわかりやすく、非常に勉強になりました。育児に対する疑問や迷い



を解決するための方法や、子どもの将来に向けて、今、親としてすべきことを多く学ばせていただいた気がします。今後の育児について前向きに進んでいけそうな気がします。

失敗しないように、こっちの方がいいんじゃない? など意見を言ってしまいましたが、失敗を経験することが子どもの成長につながることがわかりました。今後はいろんな経験をして失敗しても自分で考える力をつけ、挑戦して行ってほしいと思いました。

園でも子どもたちに多くの体験活動を仕組み、失敗を繰り返しながら非認知能力や自尊感情を高めていければと思います。

天まで届け 七夕のお願い



子どもたちそれぞれが願い事を短冊に書き、折り紙で作った飾りと一緒に、玄関ホールに立てた笹にくくりつけていました。「看護師になりたい」



「消防士になれますように」など、将来の夢が書かれた短冊が目立ちました。みんなの願いが煙に乗って天まで届くよう、園庭で燃やしました。

PTA奉仕作業

ありがとうございました

土曜日の貴重なお休みの日、月・雪・桃組の保護者のみなさんを中心に、溝そうじやプール設営、芝生内の雑草抜きなどをしていただき、ありがとうございました。暑い中で作業していただき、さぞお疲れのことだったと思いますが、おかげさまできれいになり、また、7月に入ってからのプール遊びを子どもたちは楽しんでいきます。秋には星・花組のみなさんにお世話になります。よろしく申し上げます。



絵本 だいすき

～ どれを借りようかな～

園では毎週金曜日に家に持って帰る本を貸し出しています。月組の子どもたちはそれ以外にも



毎月、「本の森探検」と称して安曇川図書館に出かけて1人1冊ずつ本を借りています。

子どもたちは自分で絵本を見たり、大人に絵本を読んでもらったりするのが大好きなようです。



ホームの朝の会や、クラスの遊びの前などに保育者が絵本の読み聞かせを行っています。

どのお子も目を輝かせてお話の世界に入り込んでいるように見えます。

絵本の読み聞かせによって「想像力や表現力を豊かにする」ことや「言葉の理解や語彙力を増やす」「集中力を高める」など、多くの効果があるようです。読書活動によって非認知能力（表面参照）が高くなる結果も出ているようです。

お時間のあるときにはご家族で図書館に出かけてみてはいかがでしょうか。

1号さんは7月20日から9月1日まで夏休みとなります。職員の勤務も夏季は特別な体制をとります。緊急時など、園に連絡がつかない時には私（園長）の携帯に連絡ください。

藤波こども園 0740-32-0329

園長 澤悦弘 090-4563-7404